

科目名	こころとからだのしくみ1					単位	2.0
担当教員	横山 さつき						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	5310

●授業のテーマ

人体のしくみや病態を理解し、根拠に基づいた生活支援法を考える

●到達目標

- ①生活支援のために必要な人体の構造や機能を理解する。
- ②生理的・解剖学的な根拠に基づいた生活支援の方法を説明できる。
- ③加齢に伴う疾病や障がいの背景となる疾病の原因と症状、予防法が理解できる。
- ④疾病や障がいのある要介護者への介護サービスの視点と方法を説明できる。

●学習内容(授業概要)

人体の解剖生理の理解にとどまらず、病気や障がいをもちながら生活する要介護者の全人的理解を促すために、次のような双方向の授業を行う。

- ①人間の心身のしくみについて学習した後に、与えられた課題について個人ワークを行いプレゼンテーションする。
- ②心身の疾病や障がいの特性を学習したうえで、要介護者への介護サービスの提供方法と留意点、心理的側面への配慮等についてグループワークを行う。

●学習内容(授業計画)

1. 人体のこころとからだのしくみを学習する上で必要な基礎知識<講義>
2. 「生きている」しくみの理解<講義>
3. こころのしくみの理解<講義>
4. 心身のしくみの理解を深めるための個人ワーク
5. 個人ワークのプレゼンテーション
6. 「身じたく」に関連したこころとからだのしくみ<講義>
7. 「活動・移動」に関連したこころとからだのしくみ<講義>
8. グループワーク①
9. 「食事」に関連したこころとからだのしくみ<講義>
10. 「入浴・清潔保持」に関連したこころとからだのしくみ<講義>
11. グループワーク②
12. 「排泄」に関連したこころとからだのしくみ<講義>
13. 「睡眠」に関連したこころとからだのしくみ<講義>
14. グループワーク③
15. 死にゆく人のに関連したこころとからだのしくみ<講義>

●準備学習・事後学習の内容

準備学習：①事前にシラバスを確認し教科書の該当箇所を熟読しておく。②与えられた課題に取り組む。
 事後学習：①授業内容をノート等にまとめる（教科書の該当箇所と配布資料の内容とを統合して理解する）。
 ②復習用のワークシートに解答する。

●成績評価方法・基準

個人ワーク（プレゼンテーションの内容）：25%

グループワーク（取り組み状況と成果物）：25%

学期末試験（筆記試験）：50%

●テキスト（必携）

最新介護福祉全書 12「こころとからだのしくみ」小坂橋喜久代・松田たみ子，メヂカルフレンド社（2015）

●参考文献／その他

「かんたん明解 こころとからだのしくみ&ケアの基本知識を学ぼう 専門介護のための導入 WORK BOOK」

横山さつき，現代図書（2010）＊購入は任意

●履修上の注意

①個人ワークやグループワークに主体的に取り組み、その成果物をルールに従って期限までに提示すること。②万一欠席した場合は他の学生に課題の内容を聞き、準備をして次の授業に臨むこと。